



月2回刊=1612号
2022年10月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

月例給 3年ぶり 一時金 4年ぶり 引上げ勧告

勧告実現に向け、確定闘争に結集を!

10月21日、県人事委員会は、月例給は初任給及び若年層を中心に給与改定を行うこと、一時金は勤勉手当で配分する内容の勧告を行った。また、ガソリン価格の上昇を考慮した手当額の検討、勤勉手当が措置されていない会計年度任用職員の期末手当について、職員との均衡を考慮した支給月数の検討について報告で触れられた。県職労は、確定闘争で賃金水準の具体的改善に向け取り組みを強化する。

県地公共闘は、コロナ対策をはじめ、あらゆる職場で奮闘する職員の勤務・生活実態を踏まえた諸手当改善、長時間労働の是正、更には両立支援のための休暇制度の拡充などを求めている。

月例給は3年ぶり、一時金は4年ぶりとなる引上げ勧告となったが、この間の物価上昇等をみれば、生活費維持のためにはまだまだ不十分であると言わざるを得ない。また、給与改定が全ての号給での引上げにならず、不満の残る内容となった。一方で、ガソリン価格の上昇を考慮した通勤手当の見直しや会計年度任用職員の期末手当の支給月数の検

【勧告のポイント】
月例給は3年ぶり、一時金(ボーナス)は4年ぶりの引上げ改定
・民間給与との較差(0.29%)を踏まえ、初任給及び若年層の給料月額を引上げ
【初任給の引上げ】大卒程度(Ⅰ種試験)3,000円、高卒程度(Ⅲ種試験)4,000円
・一時金(ボーナス)を0.10月分引上げ(4.30月分→4.40月分)、民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分

1 民間給与との較差等に基づく給与改定

(1) 公民給与の比較

- ①月例給 民間349,857円 職員348,842円 較差1,015円(較差率0.29%)
- ②一時金 民間4.38月分 職員4.30月 較差0.08月

(2) 本年の給与改定【勧告事項】

<給料表> 【実施時期:2022年4月1日】

民間給与との較差、民間の初任給の動向等を踏まえ、初任給及び若年層の給料月額を引上げ

<期末手当・勤勉手当> 【実施時期:2022年12月1日】

一般職員:0.10月引上げ(4.30月分→4.40月分)

民間の支給状況等を踏まえ、引上げ分は勤勉手当に配当

一般職員	6月期	12月期
2022年度 期末手当	1.225月(支給済み)	1.225月
勤勉手当	0.925月(支給済み)	1.025月(0.10月)
2023年度 期末手当	1.225月	1.225月
以降 勤勉手当	0.975月(0.05月)	0.975月(0.05月)

再任用職員:0.05月引上げ(2.25月⇒2.30月。勤勉手当引上げ)

再任用職員	6月期	12月期
2022年度 期末手当	0.675月(支給済み)	0.675月
勤勉手当	0.450月(支給済み)	0.500月(0.05月)
2023年度 期末手当	0.675月	0.675月
以降 勤勉手当	0.475月(0.025月)	0.475月(0.025月)

2 上記以外の報告の主な内容

(1) 職員の給与に関する事項

<通勤手当>

交通用具使用者に係る通勤手当について、県内の昨今のガソリン価格の動向等負担の実態を考慮し、手当の額を検討する必要がある。

<会計年度任用職員の期末手当>

勤勉手当が措置されていない会計年度任用職員の期末手当について、職員との均衡を考慮しつつ支給月数を検討する必要がある。

(2) 公務運営に関する事項

<定年引上げへの対応>

定年引上げの円滑な実施に向け準備を進めるとともに、中長期的な観点からの採用の在り方や役職定年後の職員を含む高齢層職員の職務や配置等について検討し、高齢層職員が意欲を持って職務に従事できるよう適切に対応していく必要がある。

会計年度任用職員

対象とした
組合説明会を開催

各支部で組合説明会を
順次開催します。

詳しくは書記局へ



会計年度任用職員相談員兼
県職労特別執行委員兼
盛岡市議会議員
県職労組織内「野中やすし」

討が報告で言及されたことは、地公共闘が要望したことを反映した結果であると言えらる。今後、ステージは確定闘争へと移行する。引上げ勧告を現実のものにするためには確定闘争での取り組みが重要となる。県職労は、「知事あて大型ハガキ署

【月例給・一時金】

月例給・一時金はともにプラス勧告だが、昨今の県財政事情から凍結・値切り等、勧告どおり改定されな

県職労第121回中央委員会

22確定闘争方針を確立

10月15日、県職労は第121回中央委員会を開催し、2022確定闘争方針、新採用加入をはじめとした組織強化拡大を柱とした当面の闘争方針を確立した。



▲当面の闘争方針を決定した県職労第121回中央委員会

開会に当たり、小田嶋中央執行委員長は「人員不足、マンパワー不足など、コロナ禍だから仕方ないとアキラメてはいませんか。県人勤に

「**主な補強発言の骨子**」
《久慈支部・北崎委員》
○今年度から実施する県北2支部合同局長交渉の取り組みへの支援を。
《盛岡支部・長沼委員》
○会計年度任用職員を含め、業務に必要な人員配置を。
《県庁支部・岸委員》
○青年婦人部独自交渉を行う。人員配置を。
《電子決裁・文書管理システムの本格運用は拙速。運用の改善と研修の実施を。》
最後に小田嶋委員長の団結ガンバローで確定闘争勝利に向け意思統一を行った。

「**通勤手当**」
通勤手当について、ガソリン価格の動向等負担の実態を踏まえた手当額の検討が報告で言及された。昨年来価格高騰が続いており、職員の負担は大きい。自己負担解消に向け、確実な改善を求めていく。
「**両立支援のための休暇制度**」
コロナ禍により取得期間の延長が認められている結婚休暇、キャリアアップ休暇について、未だ取束のめどが立っておらず、取得できない組合員がいることから、引き続きの延長を求める。

「**高年齢職員の勤務意欲策**」
定年引上げへの対応として、高齢層職員が意欲を持つて職務に従事できるよう対応が必要と報告で言及されていることから、賃金改善を含めた具体的な対応策を求めたい。
「**花巻支部・小野委員**」
○支部独自要求で改善されないエレベーターの設置について、本部でも応援を。
○定年引上げに向け、再任用職員の処遇改善を。
《釜石支部・大野委員》
○リモート会議等の増に対応できるように、庁舎内に十分な回線の確保を。
《盛岡支部・長沼委員》
○会計年度任用職員を含め、業務に必要な人員配置を。
《県庁支部・岸委員》
○青年婦人部独自交渉を行う。人員配置を。
《電子決裁・文書管理システムの本格運用は拙速。運用の改善と研修の実施を。》
最後に小田嶋委員長の団結ガンバローで確定闘争勝利に向け意思統一を行った。

DXが注目される理由に2025年の崖があり、新型コロナウイルスにより生活様式や勤務形態、働き方がニューノーマルに対応することが余儀なくされ、その推進が加速化している▼経産省によれば、「デジタル技術を用いて、製品やサービスをビジネスモデルや組織を「変革」し、「競争優位性を確立する」ための取り組み」と定義されている。何か良いことが起きそうな言葉である▼DXに似た言葉に、電子書籍に代表されるアナログな情報を技術でデジタルデータに置き換える「デジタルイゼーション」がある。また、オンラインチャットのようなプロセスやサービスをデジタル化する「デジタルイゼーション」もある。デジタルイゼーション↓デジタルイゼーション↓組織変革と優位性確立でDXは実現する。DXの推進には、デジタル化を行い、その技術を使う先には人や組織の幸せを追求する目的がある▼もししたらDXの推進によってこれまでの業務が不要になるかもしれない。しかしDXによる負の要素は生んでならない。それに携わっている方が次どうなるかまで含めてDXなのではないか。

青年婦人部 11.18 独自交渉実施へ

11月18日、本部青年婦人部では知事あて独自要求書を提出し、人事課給与担当課長との交渉(意見交換会)を実施し、青年婦人部の視点で職場環境・労働条件等の改善に取り組む運動を展開する。

現在、本部青婦部役員は、より職場実態に即した要求書となるよう各支部青婦部と意見交換会を行っている。相談しやすい人員体制の他、取得しやすい休暇、柔軟な働き方のための時間外や公舎の冷暖房の整備など実現できるように引き続き取り組んでいく。

要求書項目の主な内容はこれ!!

- ・若手職員の人材育成のため経験・年齢バランスを考えた人材配置をすること。
- ・休暇を行使しやすい職場環境を実現するための具体策と管理職への指導を徹底すること。
- ・フレックスタイム制・時差勤務等を考慮した適正な冷暖房を整備すること。
- ・「人事異動」について本人希望を尊重し、希望しない地域・部署への異動を行わないこと。
- ・すべての職員公舎にエアコンを設置すること。



▲講演する八巻労働条件局長

▲確定闘争勝利に向けて決意を固め合った総決起集会

10月22日、自治労県本部主催の2022現業公企統一闘争・確定闘争勝利総決起集会が開催され、今年度は対面で勤労福祉会館を会場に行われた。

県本部伊藤執行委員長から「先日出された県人事委員会勧告はどのよりも遅い勧告だった。国同様の月例給・一時金共にプラス勧告が出されたが、全年齢の引き上げとなっておらず厳しい情勢だが、一年の闘争の集大成のこの時期に結果に結び付けていこう。現業・公企闘争の最大課題は人員確保と直営堅持である。現業公企統一闘争・確定闘争勝利に向けて、県本部・単組が団結して取り組む決意を固めよう」とあいさつ。

10・22 県本部現業・公企統一闘争・確定闘争勝利！総決起集会 月例給、一時金の引上げを勝ち取る！ 現業職場の体制拡充を

基調講演では、「2022確定闘争における課題について」として、前年に引き続き、自治労本部労働条件局長・八巻由美さんが講演。今年度の副題として「定年引上げと週休日の適正な運用」とし、まず初めに、各都道府県の勧告状況の共有と確定闘争の重点課題を確認した。

そして、2022確定闘争の取り組みの柱の一つとして、人勸を踏まえた賃金課題に加えて、自治労に結集するすべての単組で「週休日の振替運用の適正化を取り組み、公務職場の違法状態を一掃しよう」とした。定年延長と再任用制度について再共有しながら「重要なのは具体的な運用に関する

ことを交渉で勝ち取っていくこと」と提起した。

県本部及川書記長から自治労県本部確定闘争方針について提起し、その後町村評・現業評・公企評の各代表から確定闘争勝利に向けた決意を表明した。最後に伊藤委員長の団結ガンバロで前進に向け意思統一をはかった。

現場の実態を踏まえた 人員配置を求めていく 二戸支部で定期大会を開催

二戸支部は10月13日、定期大会を開催した。

長嶺支部長から、「コロナウイルス感染者が増加する中であるが、2年ぶりに定期大会の開催ができた。

その後、執行部より賃金、労働条件改善のため諸手当、専門職の処遇改善をはじめとする継続課題の前進に向けた取り組み、今年度の新採用職員加入促進や、過年度採用者・会計年度任用職員の組織拡大の取り組みと、職場環境改善への取り組みの強化を提起し、討論を経て確立した。

最後に大会スローガンとして「支部・分会一体となって組合加入を促進し未加入者をなくそう」「分会活動を積極的に展開し、支部活動の充実を図ろう」「22確定闘争に積極的に取り組む



▲二戸支部定期大会の様子

わたしの おすすめ ランチ

宮古支部編
宮古土木センター
佐藤 貴浩さん



▲「焼肉定食」(600円)に笑顔の佐藤さん

宮古地区合同庁舎の食堂は、20種類超のメニューを揃える、みんなの胃袋に寄り添った食堂です。今回ご紹介するのはみんな大好き「焼肉定食」です。

お盆を持った瞬間に感じるズッシリ感は、男性でも満足できる量の証。タレの絡んだ豚肉がご飯との相性抜群なうえ、タレのしみ込んだキャベツもたまりませ

ん。その他にも、日替わり定食では季節の食材を使ったメニューなどがあり、毎日食べても飽きない嬉しさがあります。

宮古合庁食堂は、職員のほかに地域

の皆様からの人気も高く、満席になることも珍しくありません。その場合は少し時間をすらした利用がお勧めです。

ぜひ、宮古にお越しの際は、お立ち寄りください。



▲この日の日替り夜定食「とろ〜りあんかけ天津飯」(600円)

いつでも・どこでも、スマホ・PCからお申込み

東北ろうきん

Web完結型ローン

ご来店不要! ご記入不要! ご印鑑不要!

お申込みからご契約までWebで完結!

※Web完結型ローンは店頭にてお申込みいただく商品と異なり、お申し込みからお借入れまでご利用いただけます。
※審査の結果、ご借入れできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※お借入れ後、東北ろうきんホームページにて説明書をご参照いただけます。

お申込みはこちら

お車に関する様々な費用に //

マイカーローン

Web完結型

お申込みはこちら

暮らしに関する様々な費用に //

フリーローン

Web完結型

お申込みはこちら

急な出費にこの1枚があると安心 //

カードローンマイプラン

Web完結型

2022年10月1日現在